

研究課題名 潰瘍性大腸炎術後の回腸嚢関連慢性難治性合併症に対する Salvage手術の検討 に関する情報公開

1. 研究の対象

2008年1月から2019年11月までの期間に、当院で潰瘍性大腸炎と診断され大腸全摘術および回腸嚢肛門吻合が行われた方。

2. 研究目的・方法

潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘術および回腸嚢肛門（管）吻合は標準術式のひとつといわれています。回腸嚢炎など回腸嚢に関連した合併症は様々な病態が存在し、難治症例に対しては外科的救済手術（Salvage手術）が行われます。今回、潰瘍性大腸炎術後に難治性回腸嚢関連合併症が生じた症例の臨床病理学的特徴や救済手術の安全性や有効性を検証する目的で、潰瘍性大腸炎と診断され大腸全摘術および回腸嚢肛門吻合が施行された患者を対象に、患者背景、検査所見、手術結果、臨床経過等を後方視的に検討します。研究期間は実施承認日～2023年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、血液検査所見、CT画像、手術記録など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市昭和区鶴舞町 65 052-744-2250

消化器外科二 病院助教 服部 憲史

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻病態外科学 講師 中山 吾郎